



学校案内（5月8日）

生活科の学習で、2年生が1年生に特別教室をクイズ形式で紹介し、学校案内を行いました。当日は、2年生が、1年生を引率する役、クイズを出す役、スタンプを押す役に分かれて活動をしました。事前に調べてクイズを作った

ので、1年生にとっては初めて知ることも多く「へえ」という声がよく聞こえました。低学年の「生活科」の学習には「自立し、生活を豊かにする」というねらいがあります。今回は、意欲や自信をも

学校のことを教える先輩 2年生が学校案内をしました

子どもが持つ思いや願いを実現しながら、自分自身の成長に気づき、活動の楽しさや満足感を味わうことができる生活科の学習を積み重ねていくと、新たなことに挑戦する姿を生み出すことができます。次の生活科の学習が楽しみです。

以前、学校便りでもお知らせしたツバメですが、巣の中でヒナが成長し、前庭を飛び回っています。子どもたちが優しく見守り声をかけるのが、ツバメも安心して育つようです。さて、学校での子どもたちの様子をできるだけ多く、家庭に発信するために、「家庭用」の学校便りを作成することにしました。地域には、月末をめどに月1回の配布を継続します。「タイム」の下に【家庭用】とありますので、そちらで判断してください。

もうすぐ運動会

いい姿を見せるために頑張っています



応援リーダーの6年生団長（5月15日）

先日の代表委員会で、児童会のテーマがきまりました。「最後まであきらめず、全力で取り組む西山台っ子」西山台っ子は、このスローガンを念頭に置き、自分のめあてを立てて、運動会の練習に励んでいます。これまでに2回の全体練習を行いました。開閉会式の練習では、体育主任が「わかったときは返事をする」「朝礼台に上がった人をしっかり見る」と話をすると、行動できる子どもたちが多くいました。できる児童を中心に、正しい行動ができる児童が全体に広がっています。1回目よりも2回目の態度がぐんと良くなりました。応援練習では、団長が中心となり、各チームで内容を考えたり、応援旗を作ったりして、朝から練習をしながら士気を高め

実習生の受け入れ

長崎大学と純心大学から、教育実習の学生を受け入れることになりました。実習内容は、学校行事や野外宿泊学習のお手伝い、担任の学級事務補助が中心となります。実習生たちは、数年後に教員になることをめざしており、教育に情熱をもって実習に臨みます。本校での実習で得た知識と経験を教員になったときに役立ててくれると期待をしています。子どもたちの成長が働く喜びになるという教育のおもしろさや大切さを実習生が味わうことができます。肯定的

声援と拍手です。カッコいい姿を見せるために頑張る子どもたちを当日は温かく見守ってください。

校長室から